

音韻分布圖ニ關スル注意及ビ分布圖目錄

音韻分布圖ニ關スル注意

音韻分布圖ニ關スル注意

一、分布圖ニ於テハ取調事項二十九ヶ條ノ内、便宜一ヶ條所載

キ現ハシタレドモ、各地方ニ於テハ或ハ諮問事項中ニ例示シ

音韻分布圖ニ關スル注意

一、分布圖ニ於テハ取調事項二十九ヶ條ノ内、便宜一ヶ條所載ノ事項ヲ分割シテ之ヲ二三枚ニテ表ハシ、或ハ二三ヶ條所載ノ事項ヲ合併シテ之ヲ一枚ニテ表ハシ、別ニ動詞ノ活用スル部分ノ發音ヲ抽出シテ三枚ノ地圖ヲ作りタリ。又第一部(長音ノ部)ノ中第九號ハ口語法取調事項第一條ノ報告ヲ參照シテ作りタルモノナリ。

二、下圖ニ使用シタル輪廓地圖粗ナリシガタメ、郡市及ビ其他ノ區域ノ位置ヲ正確ニ表ハスコト能ハザリキ。

三、各地方ノ調査報告ノ不明ナル部分及ビ缺ケタル部分ハ暫ク遺漏ノマ、ニ存セリ。又沖繩縣ノ發音ハ或地圖ニ於テハ故ラニ表ハサズ。

四、語ノ種類、緩急ノ別、社會階級教育ノ相違等ニヨリテ生ズル一地方内發音ノ差別ノ如キハ複雑ニシテ一々地圖上ニハ明示シ難キヲ以テ單ニ一括シテ大體ヲ表ハスニ止メタリ。又程度上ノ差別ノ如キモ製圖者ノ見解ニヨリテ取捨シタル所アリ。

五、色彩標識ノ下ニ「稀ニ斯ク發音ス」ト註スルハ斯クノ如キ發音、語ノ數ニ於テ稀ナルノ意カ、又ハ同ジ語ニテモ斯ク發音スルコト普通ナラザルノ意カ、又斯ク發音スル人少ナキノ意カ、各地方報告書ニテハ明カナラザルモノ多シ。

六、地圖ノ標題ハ、「ア」列長音、「イ」列音、「エ」列音變換分布圖、「ウ」列音分布圖等ノ如ク、便宜上多クハ概括的ニ書

音韻分布圖ニ關スル注意

キ現ハシタレドモ、各地方ニ於テハ或ハ諮問事項中ニ例示シタル少數ノ語ノミニ拘泥シテ之ヲ調査シ、他一般ノ場合ヲ顧ミズシテ報告シタルモノモアルベケレバ、圖上ニ現ハシタル所ヲ以テ直ニ全體ニ亘ル發音トハ見做シ難カルベシ。然レドモ此等少數ノ場合ヨリ全體ノ傾向ヲ類推スルヲ得ベキナリ。

七、各府縣ニ於ケル調査ノ擔任者又ハ整理者ノ概括ノ仕方、區域ノ立テ方等一貫セザルガ故ニ府縣ニヨリテ着色或ハ一様ニ或ハ多様ニ單複一ナラザルハ止ムヲ得ザル所ナリ。又實際、其府縣中、或一定ノ部分ノミ異ナル發音ヲナスコトアリトモ、府縣ニ於ケル整理者ガ其府縣全體トシテ概括的ニ報告シ其差別アル地方ヲ明示セザルトキハ、製圖者ハ其報告ノマ、ニ一様ノ色彩ヲ施シタルガ如キコトアリ。

八、一府縣ニ於テ部分的報告ト概括的報告ト兩ナガラ存スルトキハ成ルベク前者ニ基キテ發音ノ分布ヲ定メテ着色スルコトトセリ。但シ部分的報告、多クノ市郡ニ存シテ二三ノ市郡ニ缺ケタルトキ、別ニ概括的報告ノ添ヘアル場合ニ於テハ之ニ由テ遺漏ヲ補ヒテ着色ヲ施シ、其添ヘアラザル場合ニ於テハ遺漏ノマ、ニ存セリ。

九、同一地方ノ報告ニシテ調査者ノ異ナルガタメ相違セル點アルトキハ本會ニ於ケル整理者ノ見解ニヨリテ適宜ノ判定ヲ與ヘテ着色セリ。

十、發音分布圖ヲ見ン人ハ先ヅ目錄ニ依リテ取調事項ノ本條ヲ

參照セザルベカラズ。又圖上ニ示セル市郡等各區域ノ位置及ビ各區域ニ於ケル發音ノ差別ノ詳細ヲ知ラントスルトキハ、別ニ

各府縣ノ明細ナル地圖ヲ備ヘ、更ニ音韻調査報告書ヲ參考スルヲ要ス。

音韻分布圖目錄

○長音ニ關スル部

- 一、國語ノ「ア」列長音二音分布圖(音韻取調ニ關スル事項第一條參照)
- 二、國語ノ「イ」列長音二音分布圖(第二條參照)
- 三、國語ノ「ウ」列長音二音分布圖(第三條參照)
- 四、字音ノ「ウ」列長音二音分布圖(第四條參照)
- 五、國語ノ「エ」列長音二音二重音分布圖(第五條參照)
- 六、字音ノ「エ」列長音二音二重音分布圖(第六條參照)
- 七、國語ノ「オ」列長音二音二重音分布圖(第七條參照)
- 八、字音ノ「オ」列長音二音二重音分布圖(第八條參照)
- 九、「逢フ」「買フ」等ノ波行四段活用動詞ノ終止連體法ノ發音分布圖(第九條參照)
- 十、「食ヒ」「強ヒ」「用キ」等ノ動詞活用法ノ發音分布圖(第二條參照)
- 十一、「食フ」「吸フ」「縫フ」等ノ波行四段活用動詞ノ終止連體法ノ發音分布圖(第三條參照)
- 十二、「追フ」「思フ」「醉フ」等ノ波行四段活用動詞ノ終止連體法ノ發音分布圖(第七條參照)
- 十三、「イ」列音「エ」列音變換分布圖(第十條參照)

○母音ノ變換ニ關スル部

- 十三、「イ」列音「エ」列音變換分布圖(第十條參照)

十四、「イ」列音「ウ」列音變換分布圖(第十一條參照)

○「ヤ」行及ビ「ワ」行ニ關スル部

- 十五、「ユ」音ノ變化分布圖(第十四條參照)
- 十六、「イ」音「ye」分布圖(第十三條參照)
- 十七、「ウ」音「wi」分布圖(第十五條參照)
- 十八、「ウ」音「we」分布圖(第十六條參照)
- 十九、「ウ」音「we」分布圖(第十九條參照)
- 二十、「ウ」音「wo」分布圖(第十七條參照)
- 二十一、「ウ」音「wo」分布圖(第十九條參照)
- 二十二、波行四段活用動詞未來形ノ發音分布圖(第十九條參照)
- 二十三、複合語中動詞「合フ」ノ轉呼分布圖(第十二條參照)
- 二十四、複合語中「ア」音轉呼分布圖(第十八條參照)
- 子音ニ關スル部
- 二十五、「ガ」行鼻音「ng」分布圖(第二十條參照)
- 二十六、語頭及ビ複合語中ノ「ガ」行鼻音「ng」分布圖(第二十一條參照)
- 二十七、「カ」「ク」分布圖(第二十二條參照)
- 二十八、「ジ」「ヂ」分布圖(第二十四條參照)
- 二十九、「ズ」「ヅ」分布圖(第二十七條參照)

音韻分布圖ニ就キテ注意スベキ點

○長音ニ關スル部

同ジ母音ヲ a i ū ē ō ノ如ク一息ニ長呼スルモノ(長音)ト、同

一、「イ」音「ye」分布圖ハ語ノ中、尾ニ於ケル「え」「へ」「る」ヲ

「イ」(ye)ト發音スル地方ヲ示ス。

母音ヲ a i ū ē ō ノ如ク一息ニ長呼スルモノ(長音)ト、同

音韻分布圖ニ就キテ注意スベキ點

○長音ニ關スル部

同ジ母音ヲā ī ū ē ōノ如ク一息ニ長呼スルモノ(長音)ト、同ジ母音ヲaa ii uu ee ooノ如ク二息ニ連呼スルモノ(二音)若クハ異ル母音ヲei ou等ノ如ク連呼スルモノ(二重音)トノ區別ヲ單ニ耳ニノミヨリテ判斷スルコトハ甚困難ノ業タルノミナラズ、又其結果ハ到底不正確ナルヲ免レザルナリ。從テ將來今回ノ調査ヲ補正スルニ方リテハ殊ニ長母音ニ關シテ精密ナル研究ヲ要スルコトト信ズ。今長音ノ部ニ就キテ注意スベキ點ヲ左ニ舉グ。

- 一、國語ニ於テモ字音ニ於テモ長音ハ存在ス。
- 二、字音ハ國語ニ比スレバ長音トナルコト多シ。
- 三、字音ノ「エ」列長音(ē)ヲ發音スル地方ハ同二重音(ei)ヲ發音スル地方ヨリモ甚廣シ。但シ、其二重音ハ西南部ニ分布セルヲ見ル。
- 四、長音ニ發音セラルベキモノ間々短縮スルコトアリ。
- 五、動詞ノ活用スル部分ハ二音又ハ二重音ニ發音セラルルコト多ク、且ツ其發音ノ分布廣シ。是レ語尾ト語幹トノ辨別アルガ爲メナルベシ。

○母音ノ變換ニ關スル部

「イ」列音(i)ノ「エ」列音(e)ニ轉ズル場合ト「エ」列音(e)ノ「イ」列音(i)ニ轉ズル場合ト「ウ」兩列音ノ變換亦同ジ)統計上孰レガ多キカ、又其地方ニ於ケルie兩母音ノ性質如何等ハ今回ノ調査ニ於テハ知ルヲ得ズ。只コノ音韻變化ハ東北地方一帶ニ最廣ク蔓延セルコトヲ知ル。

○「ヤ」行及「ワ」行ニ關スル部

一、「イ」音(ye)分布圖ハ語ノ中、尾ニ於ケル「え」「へ」「ゑ」ヲ

「イ」(ye)ト發音スル地方ヲ示ス。

二、「ウ」音(we)分布圖ハ甲乙ノ二ニ分ル。甲圖ハ語ノ頭、中、尾孰レノ位置ニ在ルヲ問ハズ、「ゑ」ヲ「ウ」(we)ト發音スル地方ヲ示シ、乙圖ハ「うへ」(上)ノ「へ」ヲ「ウ」(we)ト發音スル地方ヲ示ス。

三、「ウ」音(wo)分布圖モ亦甲乙ノ二ニ分ル。甲圖ハ語ノ頭、中、尾孰レノ位置ニ在ルヲ問ハズ、「を」ヲ「ウ」(wo)ト發音スル地方ヲ示シ、乙圖ハ語ノ中、尾ニ於ケル「ふ」「ほ」ヲwoト發音スル地方ヲ示ス。

ぬ、る、をヲ(殊ニ語頭ニ於テ)「ウ」(we)ト發音スルコトニ就キテハ疑フベキ點アリ。東北地方ニ於テハ學校ニテゐるをヲ「ウ」(we)ト發音スルコトヲ教フトイハバ或ハカクノ如キ故意ノ發音ト普通ノ發音トヲ混同シタルモノモアラン。但シ、「ウ」音(wo)ノ分布稍々廣シト雖モ、猶ホ「オ」音(o)ノ分布ニ比スレバ狭シ。「ウ」(we)ニ至テハ、其分布最モ小ナリ。

○子音ニ關スル部

一、「ガ」行鼻音ハ兵庫縣及ビ徳島縣ヲ界トシ、其以東ニ廣ク行ハル。只新潟縣ヨリ東南一帶、群馬、栃木、埼玉、千葉ノ數縣ニ亘ル地方ニ於テ、地續キニ此音ノ缺ケタルヲ見ル。

二、「カ」「ク」ノ區別大體ニ於テ嚴ナレドモ猶ホ一定ノ少數ナル語ニ於テ「ク」ノ「カ」ニ轉ジ、又ハ「カ」ノ却テ「ク」ニ轉ジタル地方アリ、本圖ニ於テカ、ル場合ヲモ示シタリ。「カ」

「ク」ノ區別ハ西南部及ビ北方沿海ノ一帯ニ行ハレ、其範圍ハ狭シトセザレドモ、猶區別ヲ失ヒタル範圍ニ比シテハ小ナリトス。

三、「ジ」「ヂ」ノ區別(「ズ」「ヅ」ノ區別亦同ジ)ニ於テモ亦上ノ如ク轉換スル場合アリ。而シテ二音ノ區別ノ消滅シタル結果、左ノ三種ノ場合ヲ生ゼリ。

第一、「ジ」又ハ「ヂ」ノ一音ニ歸ス。

第二、「ジ」「ヂ」ヲ混用シテ而モ其二音タルヲ辨ゼズ。

第三、「ジ」「ヂ」孰レニモアラザル特別ノ發音ヲナス。

「ジ」「ヂ」ノ區別ノ行ハル、範圍ハ僅ニ九州及ビ四國ノ一部分ニ局シ、全國多クハ「ジ」ヲノミ發音スルモノ、如シ。然レドモ二音ノ區別消滅シテ其結果「ジ」ニ歸セシカ「ヂ」ニ歸セシカハ尙一層周密ナル研究ヲ要スルコトナリ。